

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ名古屋]

2020 03

特別版

『BizLifeStyle』は東京、関西、仙台、福岡、名古屋にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041

www.dac-group.co.jp/

企画・制作/株式会社デイリー・インフォメーション中部

〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F

© 2020 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD

私には、
早稲田しか見えない。



決めた、
絶対に慶應に行く。



<<< NEXT 志望校に導く、合格力の高い予備校とは？

My Favorite Life Style



【早稲田大学】



【慶應義塾大学】

大学特化型

最適 な規模感



早稲田・慶應の大学特化型コースが誕生

生徒一人ひとりに寄り添う「親身の指導」を徹底

代々木ゼミナール名古屋校は2020年4月から早大文系コース、慶大文系コースを新たに開設する。昨までは早慶上智文系コースを一括りにしていたが、各大学に特化したコースを新設することで、今まで以上に志望校対策を強化していく狙いだ。もちろん、私立文系は代ゼミが強いと言われており、なかでも早稲田・慶應は圧倒的な強さを誇っていた。直近2年の合格率は66%、過去には80%という驚異的な数字を叩き出した年もあり、新設コースには蓄積された合格ノウハウが注ぎ込まれている。

大学別にコースを設けるとなると講師もテキストも倍必要になり、正直なところ手間やコストがかかる。名古屋はもちろん、東京でも早稲田と慶應、別々のコースを設ける予備校がほとんどないのは手間やコストを懸念してのことだろう。だが、同レベルの大学でも出題傾向や必要な対策はそれぞれ異なる。大学別でカリキュラムを組み、対策を講じた方が生徒にとって有益であることは間違いない。代々木ゼミナールは生徒ファーストを追求し、敢えてこのコースをつくり出したのだ。

早大文系コースで英語を担当する佐藤ヒロシ講師は、講師歴30年のベテランで、長年にわたり早大対策講座を受け持ち、多くの生徒を早大に送り出してきた。このように、いずれのコースも授業を担当するのは早稲田・慶應対策に精通した実績豊富な講師である。受験生に与えられた時間は限られている。各大学を知り尽くした講師から、各大学に特化した授業を受けられるのはとても魅力的だろう。また、大学特化型コースは効率的に学べることも大きなメリットがある。それはクラスの一体感である。全員が同じ大学を目指していることで、一つの目標に向かってクラス全体で突き進むことができるのだ。本気で早稲田や慶應を狙うのなら、このコースを見逃す手はないだろう。



早稲田コース 英語講師 佐藤ヒロシ



代ゼミの早大入試プレ、慶大入試プレは、出題傾向の異なる学部ごとに型が設置されている本番さながらの模擬試験だ。高い的中率を誇る良質な問題であるため、必ず復習をしたい。



早大・慶大は大学・学部によって問題の傾向が異なるのが特徴だ。代ゼミの大学別テキストはそれぞれの出題パターンをしっかり対策できて無駄がない。

本場に合格力の高い予備校はどこか……。最短で志望校に合格したいのなら、このような視点で予備校選びをするべきである。代々木ゼミナール名古屋校は教室のサイズを敢えて小さくして、少人数制で授業を行う方針を打ち出している。それは生徒一人ひとりの学習効果を最大限に高めることを追求したからだ。代々木ゼミナール名古屋校は定員20~30名規模のコンパクトな教室が多数を占めており、講師と生徒の距離感が驚くほど近いのである。

一般的に予備校といえは、数百人の生徒を相手にした独演会スタイルの授業をイメージする人が多いだろう。だが、このような授業は講師と生徒との関係性が希薄になりがちで、緊張感を持って学び続けることが難しい。一方、代々木ゼミナール名古屋校では、ただ講義を聞くだけの受け身の授業ではなく、生徒に質問を投げかけるなど、適度な緊張感を保ちながら生徒の主体的な参加を促す授業が展開されている。特に国立の二次試験で出題される記述式問題は一人で勉強するのが難しく、相互のやりとりが欠かせない。東大コースをはじめ難関コースにおける合格率が高い(東大コース直近2年の合格率60%)のは、一人ひとりの指導が行き届いているからこそのことだ。

どちらが一人ひとりに時間をかけられるかは、説明するまでもないだろう。ただし、一人ひとりにかける時間だけを比較するのなら、個別授業だからこそのメリットもある。集団授業だからこそのデメリットもある。集団授業では、個々の生徒の意見や考えを「活用」し、クラス全体の問題として共有することで、個人の枠を超えた豊かな学びを実現できる。参加意欲やライバル心も芽生え、クラス全体が「活性化」される。そのため最適規模が現在の教室のサイズだといえる。

代々木ゼミナールはかねてから「講師の代ゼミ」と呼ばれており、講師のレベルの高さは定評がある。現在も講師のレベルは変わらず、多くの受験生を指導してきた実力が裏打ちされている。なかには20~30年以上前から第一線で活躍し続けている講師もおり、親世代の間で話題を集めた人気講師の授業を目前で受けることができるのだ。

また、代々木ゼミナール名古屋校では20名前後の生徒に対して2名のクラス担任を配置し、年間を通して受験生のサポートを行っている。学習計画や学習方法の指導、受験校選びのサポートは、もちろんのこと、メンタル面や生活面にも細かく目を配っており、欠席している生徒がいたら各家庭に電話を入れるほどの徹底ぶりだ。この生徒との関わり方は予備校というより、学校の感覚に近い。生徒一人ひとりにしっかりと時間をかけ、一人ひとりに寄り添った「親身の指導」によって真の合格力を高めているのである。



受験を熟知したクラス担任は生徒にとって心強い存在。一人ひとりの志望校や学習状況に合わせて、細く細やかな指導を行っている。



講師室は出入り自由のオープンドア。気軽に質問できる環境づくりを徹底しており、休み時間は質問に訪れる生徒で活気にあふれている。



名古屋校には質問ブースが設けられており、休み時間に授業中の疑問を講師に質問したり、英文文などを添削してもらったりすることができる。



早慶コース卒業生の声

森本さん(2019年 代ゼミ卒) / 慶應義塾大学 法学部合格

Q あなたが慶應義塾大学に合格できた要因を教えてください。

A 私が慶應義塾大学に合格できた要因はいくつかありますが、大きなポイントとして二点あります。一点目は記述での勉強を重視したこと。慶應や早稲田に合格する人の多くは、東大や京大といった難関国立を併願している人々なので、その人たちに負けないためにも彼らが日頃やっている記述での勉強を自分も実践しました。具体的には、選択式(マーク式)問題であっても、一度自分で記述の解答を作ってから選択肢を見る、ということをしました。「書ける」ということは、うろ覚えではなく正確な知識が必要になるので、こういった練習を通して、誤った選択肢に惑わされることも減りましたし、根拠を考へて解答する癖がつかえました。二点目は、問題分析を徹底に行ったことです。例えば、過去問を解くときにその年の合格最低点プラス10%を取るのは何問ぐらい間違えても大丈夫なのか、そういったことを常に意識しながら解くことで、本番では手の出せない超難問と解くべき問題とをすばやく判断することができるようになったと思います。これらはどちらも代ゼミの先生に教えてもらいましたが、信じて実践してよかったです!

Q これから受験勉強を始める受験生にアドバイスをお願いします。

A 一年間、勉強をして志望校合格を手に入れるうえで、どういう環境に自分の身を置くかがとても重要です。私にとって代ゼミ名古屋校の早慶クラスは、常に切磋琢磨し合えるライバルがいて、負けたくないという気持ちで一年間自分を律し続けることができたので、とても良かったと思います。受験は長期戦ですので、いかに自分を律し続けることができるかが合格の最大の秘訣だと考えます。それが実現できる環境なのがよく見極めて予備校を選ぶことをおすすめします。また、講師への質問のしやすさも重要です。自分の通った代ゼミ名古屋校は、生徒が多すぎて質問の時間を取ってもらえないということではなく、授業の質問はもちろん、勉強のやり方なども丁寧に教えてくれました。おすすめの本など勉強以外の話をしてくださることもあって、自分の考えを深めることもできました。先生は生徒一人ひとりのことをちゃんと覚えてくれているので開放されるようなことはありません。私は代ゼミ名古屋校の浪人がなければ慶應合格は確実になかったのだから感謝しています。自分に合った環境を選んで志望校合格をつかみ取ってください。応援しています。



保護者の声

羽田様(お子様:名古屋大学 文学部合格)

Q お子様を代ゼミに通わせたい決意手をお聞かせください。

A 予備校選びは基本的に息子に任せていました。実際に予備校に通って授業を受けるのは他でもない息子自身だと思ったからです。志望校の決定や勉強法など、受験に熟知した職員の方々からアドバイスして頂けたら、親子ともに不安になることなく受験に臨むことができました。また、息子は論述問題が多くなる大学を志望していたため、講師の先生から気軽に答案の添削を受けられる環境が大変満足している様子でした。

Q 代ゼミのサポート面について特によかったと感じている部分を教えてください。

A 名の知れた大きな予備校にも関わらず、職員や講師の方々が生徒一人一人に対して非常に親身に向き合ってくれたことに驚きました。志望校の決定や勉強法など、受験に熟知した職員の方々から丁寧にアドバイスして頂けたため、親子ともに不安になることなく受験に臨むことができました。また、息子は論述問題が多くなる大学を志望していたため、講師の先生から気軽に答案の添削を受けられる環境が大変満足している様子でした。

Q 受験で予備校を検討している保護者の方へ一言お願いします。

A 予備校選びは何より、「百聞は一見に如かず」と感じます。この時代、予備校に関する情報はあふれていますが、実際に校舎に行ってみて話を聞いたり、体験授業を受けたりする中で本人に合った予備校に出会えると思います。代ゼミは息子自身が選んだ予備校でしたが、一年間楽しそうに勉強している姿を見て、代ゼミに通わせて良かったと思いました。

My Favorite Life Style



入学説明会&体験授業

参加申込不要 / 参加無料
会場: 代々木ゼミナール名古屋校

参加特典

入学説明会に参加された方は、大学受験科年間学費より授業料の一部を減額する
「授業料5万円減額カード」をプレゼントします!
(本特典はその他優待制度との併用はできません。)

【日程】

3/7(土) 14:40~	3/17(火) 11:00~
3/8(日) 14:40~	3/19(木) 11:00~
3/11(水) 11:00~	3/20(金・祝) 14:40~
3/14(土) 14:40~	3/21(土) 14:40~
3/15(日) 14:40~	3/22(日) 14:40~

【以下6日間で無料の体験授業も実施します!】

- 3/14(土) —— 早稲田大学志望者にオススメ
- 3/15(日) —— 東京大学志望者にオススメ
- 3/17(火) —— 慶應義塾大学志望者にオススメ
- 3/18(水) —— 名古屋大学志望者にオススメ
- 3/21(土) —— 名古屋大学志望者にオススメ
- 3/22(日) —— 国公立医学部志望者にオススメ

※体験授業は各大学等に特化した内容ではありませんが、志望大学等に適した講師が登場する予定です。

志望校合格へと導いてくれる予備校を選ぼう。

大学入試センター試験がスタートした30年前と比べると、大学入試を取り巻く環境は大きく様変わりした。当時の大学進学率は約25%だったが、現在は50%を超える。また、今年度をもって大学入試センター試験は廃止となり、来年度からは大学入学共通テストがスタートするなど、これからますます変化していくことは間違いない。だが、志望校合格を勝ち取る厳しさは今も昔も変わらず、最短ルートで合格を手にするためには、やはり予備校の存在が欠かせない。

ただし、どこでもいいから予備校に通えば良いというものではない。志望校に合格するためには何が必要なのか、自分の課題は何かをしっかりと見極めた上で自分に合った予備校を選ぶことが重要なのである。大きな予備校だから、みんなが行くから——と何となくの理由で予備校を決めてしまうのは正直なところかなりリスクが高い。大手予備校もそれぞれ特色があり、どの大学に強いのか、どのようなスタイルで授業を行うのか、どのようなカリキュラムが用意されているのかなど、確認すべきポイントがいくつもある。



している。カリキュラムや学費に関する詳しい情報だけでなく、校舎の雰囲気やスタッフの人柄など、説明会でなければわからないことがたくさんあるはずだ。体験授業も講師のレベルや授業スタイルが自分に合っているのかを確かめる絶好の機会である。これから予備校探しを始める方はぜひ一度、代々木ゼミナール名古屋校の説明会及び体験授業イベントに参加してみたいかがらう。

志望校が母校になる。

代々木ゼミナール

名古屋校

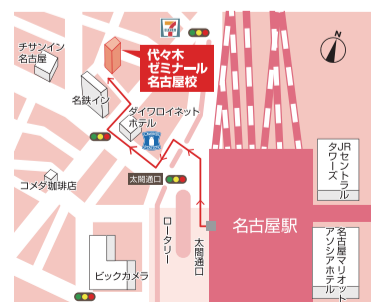
〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-5-7

0120-54-4305

■パソコン・スマートフォン(https://www.yozemi.ac.jp) ■Twitter(@yozemi_nagoya) ■LINE(@yozemi_nagoya)



校舎外観(名古屋校)



名古屋駅太閤通口より徒歩3分